

2000年度 臨時情報化委員会議事録

1. 実施日時・場所

2000年6月9日(金) 13時～17時

中京大学豊田図書館

2. 出席者

議長 中京大学(小島 英治)、南山大学(笹山 達成)

記録 愛知工業大学(津田 朋美)

愛知医科大学(田中 昭夫)、愛知大学(三浦 文博)、岐阜経済大学(高比良 幸司)、
金城学院大学(鈴木 卓美)、椋山女学園大学(河路 峰雄)、中京大学(春日井 正人)、
豊橋創造大学(川上 雅子)、日本福祉大学(石川 宗臣)

3. 議題

3.1 情報化委員会委員長の途中交代について

3.2 常任幹事会および総会の報告

3.3 委員会日程並びに事業計画について

4. 議事内容

第1回情報化委員会の議事録の内容について確認が行われ、承認された。

4.1 情報化委員会委員長の途中交代について

中京大学の小島委員長の人事異動に伴い、中京大学からは春日井委員が出席することが報告され、春日井委員が紹介された。南山大学の笹山委員が委員長になることが承認され、会計担当は笹山委員から椋山女学園大学の河路委員に交替することに決まった。委員の変更に伴い、三浦委員が委員会名簿を更新することに決まった。

また、研究グループは下記の通りであることを確認した。

文字コード	川上、三浦、春日井
メディアコンパート	鈴木、下口、高比良、津田
ホームページ	田中、河路、笹山、石川

<以下、小島前委員長から笹山委員長に議長を交代した。>

4.2 常任幹事会および総会の報告

金城学院大学で行われた常任幹事会について、報告があった。東海地区メーリング・リストについては、引き続き常任幹事会で審議していくことになった。

総会については、東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・当番校について、昨年度までは確認事項であったが今年度より審議事項としたい、昭和63年に決定された内規は現状にそぐわなくなっているので廃止したい、今後は毎年理事校・当番校の表を総会で審議・確認したいとの提案がなされ、出席者全員一致で原案どおり承認された。鈴木委員からは、「「館灯」投稿、編集、並びに公開申し合せ事項(案)」、「東海地区協議会ホームページ公開同意書(案)」を提案し、了承されたとの報告があった。5月26日付で(案)が取れて、正式な申し合せ事項、同意書になった。

4.3 委員会日程並びに事業計画について

4.3.1 第2回情報化委員会および第3回情報化委員会について

7/7の第2回情報化委員会の会場提供について、名古屋商科大学より承諾があった。

第3回情報化委員会は9/22に変更した(第1回情報化委員会時点では9/28だった)。

4.3.2 機械化アンケートについて

(1) アンケート項目の検討

昨年のアンケート項目を見ながら、検討した。

雑誌数については、前回SN情報交換会で「どう数えればよいのか?タイトル数なのか?」などの質問があったので、これは「雑誌タイトル数」とする。蔵書数については製本雑誌も含むことを確認した。CD-ROMのタイトル数、タイトル名の設問は前回と同様とする。

前回のアンケートでは、電子ジャーナルの捉え方にブレがあり、一次資料とみられるものと二次資料とみられるものが混在していた。そのブレをなくすために、なるべく具体例を挙げるという案が出た。タイトルのまとめ買いのようなサービスや、インデックスからフルテキストにつながっていくサービスもあることから、「別紙2」の質問1)は「有料の契約により Internet 上で受けているサービスの名称をあげて下さい」というような内容にすることに決まった。

「別紙2」の質問2)「所蔵資料の電子化」は、紙媒体との併用も含むこととする。ア)の種類は、1. 図書館報 2. その他の学内刊行物(紀要など) 3. 貴重書とする。種類毎に方法が選択できるよう、方法に番号を付けて選ぶことができるようにする。

Web 上でアンケートの回答ができるように、回答入力フォームを三浦委員が準備する。準備ができたから、各委員に三浦委員が e-mail で連絡をする。実際にアンケートを行う場合、Web 上で回答できない図書館に対しては、紙での回答を受け付ける。

(2) 作業日程

7/7 第2回情報化委員会で、アンケート項目確定、発送作業を行う。発送のタックシールは鈴木委員が準備する。新規加盟館2校(人間環境大学、名古屋産業大学)にアンケートを発送して良いかどうかを、理事校である椋山女学園大学の河路委員が確認する(住所も確認する)。委員長は鏡と南山大学の封筒を準備する。

7/31 回答締め切り。三浦委員は、回答が来なかった図書館の一覧を委員長に送り、委員長が回答の督促を行う。アンケートは三浦委員がまとめる。

4.3.3 システム・ネットワーク化情報交換会について

(1) 開催場所・日時

・場所は、1. 愛知淑徳大学、2. 中京大学(八事)の順で折衝する。

・日時は、1. 10/20 2. 10/13 を候補とする。

(2) 内容

・メインテーマは、第1回情報化委員会で決めたとおり、「電子ジャーナル・オンラインデータベースの動向」とし、それに合う講演を第2回情報化委員会で提案する。

・研究グループの報告を行う。

・講演は1本、デモは1~2本とする。見学会の事前勉強的な講演として、図書館情報大学の杉本先生はどうかとの案がでた。委員長が、南山大学の紅露さんの方から杉本先生にコンタクトを取っ

てもらうようお願いする。デモについては、国立国会図書館の酸性紙の媒体変換が終わり、それを丸善が売り出すので、デモにどうかという話題が出たが、デモよりも講演向きではないかとの話になった。他に、OPACの横断検索として、42大学参加のブレインテックや、東海地区のCALCの中でやっている横断検索、NECの横断検索が話題に上がった。第2回情報化委員会で各委員はデモの案を持ち寄ることとする。

(3) 講師代・参加費

講師代は交通費を含んで50,000円とする。参加費は昨年と同額の2,500円とする。

(4) 作業日程

7/7 第2回情報化委員会で、講演・デモについて検討する。

9/22 第3回情報化委員会で案内を発送する。

4.4.4 見学会実施について

委員長から農林水産研究情報センターへの見学が提案された。連絡を取ったところ、見学が可能なが報告された。

日程の第1希望は11/16～17、第2希望は11/21～22とする。1日目は午後1時～5時、2日目は午前中で見学終了とする。見学先(筑波大学附属図書館・図書館情報大学附属図書館・農林水産研究情報センター)への日程の確認は委員長が行い、確認できれば各委員に知らせる。

9/22(第3回情報化委員会)に見学会の案内を発送する。

4.4.5 その他

鈴木委員から、次期ホームページ委員の選出について考えておいて欲しいとの要望が出た。

HPリンク集については、鈴木委員が各委員にe-mailで知らせる。

情報化委員会でのe-mailのやりとりは、同報で全員に送るようにする。

以上